



# 亀中だより

No.13 令和4年6月28日 文責:岡田



For The Students!

1年生の部活動が正式にスタートして2ヵ月がたちました。真夏を思わせる蒸し暑さの中で、3年生の最後の大会、コンクール等へ向けたラストスパートの活動が続いています。テストの終わった6月23日には鈴亀地区中学校総合体育大会、通信陸上競技大会、三重県吹奏楽コンクールへ出場するみなさんを激励する壮行会も開かれました。各部の代表から力強い決意とともに、これまで支えてもらった方への感謝を聞かせてもらいました。大会は7月9日から種目ごとに予定されています。熱中症対策をはじめ、健康管理には十分気を付けて大会へ備えてください。みなさんの健闘を祈っています。



## ちょっと話...

6月2日の木曜日の出来事を市内の小中学校で校長をされていたある方から教えていただきました。その方の話によると、その日ちょうど下校時間ごろに管内地内で信号待ちをしていると、小学校1年生の児童が一人で下校している姿が目に入ったとのことでした。声をかけようかと思案していると、一人の中学生がその子に近づき、自転車から降りて一緒に歩き始めたとのことでした。

その方も車から降りて声をかけると「方向も同じなので、一緒に帰ります」といって、くれたそうです。

こんな亀中生がいたよとご連絡をいただきましたが、なんとも心の温まるお話。誰だかわからないのですが、とてもうれしい気持ちになりました。ありがとう!



## 沖縄慰霊の日

6月23日は沖縄慰霊の日でした。コロナ禍にあって沖縄修学旅行には3年間いくことができませんが、沖縄戦を扱った平和学習は機会を見て取り組んできました。

沖縄戦では、日米合わせて20万人以上が亡くなりました。このうち約19万人が日本側の犠牲者です。沖縄県民は一般住民約

9万4000人(推計)、軍人・軍属2万8228人の計約12万2000人が亡くなり、県民の4人に1人が犠牲になったと言われています。平和祈念公園での追悼式では、玉城デニー沖縄県知事による「平和宣言」のあと、沖縄市立山内小学校2年の徳元穂菜(ほのな)さん(7)が自作の平和の詩「こわいをして、へいわがわかった」を朗読されました。次ページにて紹介します。ぜひお読みください。

こわいをして、へいわがわかった

びじゅつかんへお出かけ  
おじいちゃんやおばあちゃんもいっしょに  
みんなでお出かけうれしいな

こわくてかなしい絵だった  
たくさんの人がしんでいた  
小さな赤ちゃんや、おかあさん  
風ぐるまやチョウチョの絵もあったけどとてもかなしい絵だった



おかあさんが、七十七年前のおきなわの絵だと言った  
ほんとうにあったことなのだ  
たくさんの人たちががしんでいてガイコツもあった  
わたしとおなじ年の子どもがかなしそうに見ている

こわいよ  
かなしいよ  
かわいそうだよ

せんそうのはんたいはなに？  
へいわ？ へいわってなに？



きゅうにこわくなって  
おかあさんにくっついた  
あたたかくてほっとした  
これがへいわなのかな  
おねえちゃんとけんかした  
おかあさんは、二人の話を聞いてくれた  
そして仲なおり  
これがへいわなのかな

せんそうがこわいから  
へいわをつかみたい  
ずっとポケットにいれてもっておく  
ぜったいおとさないように  
なくさないように  
わすれないように



こわいをして、へいわがわかった